



北小だより

ホームページアドレス <https://www14.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510054>

2024年度 No.11

2025年 3月10日発行

燕市立燕北小学校

学校ホームページ 2次元コード ↑



バトンが渡されていきます

校長 小川 泰文

今年度の教育活動も締めくくりの時期になりました。同時に、子どもたちが次の学年にバトンを渡す時期です。

リレーでは、バトンを渡された走者は、前の走者の走りに感謝し、ひたすら走りながら、次につながります。渡し終えた走者は、次の走者に願いを込め、残った力を振り絞って応援します。バトンをつなぐことは想いをつなぐことになって。

2008年北京オリンピック男子4×100メートルリレーで日本は銀メダルを獲得して以来、巧みなバトンパスによって、この種目で世界のトップクラスになっています。個人種目として決勝進出できるランナーをそろえていないにもかかわらず、こうした日本の技術を諸外国も取り入れはじめ、最近では世界的にバトンパスの向上が見られると聞きます。

登校班では班長が6年生から次の学年に交代しました。横断旗を持ちながら、緊張気味に先頭を歩く新班長。最後尾からみんなを見守る前班長。黄色い横断旗がバトンのように思えてきます。新班長がバトンを渡され走り始めた走者、最後尾の6年生が渡し終えた走者にも。

そして、横断歩道に差し掛かった時、班長が「渡るよ、手を挙げて。」と合図するのが伝統。また、最後尾の副班長が渡るのを待ってくれたドライバーに会釈するのも伝統。ここでも、責任感や思いやりのバトンが引き継がれていきます。

ありがとう！これからも、えがおとHAPPYで

この言葉は、先日行われた6年生を送る会でステージに飾られたメッセージです。4年生が作成しました。毎年この会は5年生を中心に、下級生が6年生のために計画・準備します。この活動を通して5年生はリーダーとしての自覚が明確になり成長していきます。6年生との思い出を振り返りながら、別れを惜しみ、これからの活躍にエールを送る。こうした会の計画・実行の面でも、前の学年から次の学年へと役割という見えないバトンが順に渡されました。

相手を想い、子どもたちの発想と手作り感のあるこうした会は、終わった後に何か温かい空気が学校を包みます。

6年生の廊下には図工の作品「未来のわたし」が展示されました。数年後を想像したり、なりたい職業を考えたりして、自分と向き合った過程が作品からにじみ出ています。一つ一つその子の想いを想像していると、純粹に未来を見つめる子どもたちの目が浮かび、「どの子の夢も実現に向かってほしい」という感情が自然と湧いてきます。夢見る職業のバトンが、世代交代という形で、いずれこの子たちの手に……。

学校の3月はリレーに例えるならバトンゾーン。様々な場面で引継ぎが行われていきます。バトンゾーンを走る子どもたちは、生き生きと目標をはっきり見えています。

子どもたちと学校を応援していただいた皆様の1年間もラストスパートとなりました。最後まで、どうぞよろしくお願いいたします。

啓蟄を迎え、生き物が動き出す3月。明るく、元気に、子どもに寄り添い、伴走していきましょう。

～3学期の学校の様子 下学年編～

1年生



学習参観では、「できるようになったこと」の発表会をしました。一人一人が、跳び箱や縄跳びなど自分のできるようになった得意技をみんなに披露しました。1年間を振り返り、自分の成長を見つめ直しました。

学校のグラウンドで、雪遊び・そり遊びをしました。大雪の中でしたが、寒さに負けず、楽しく遊びました。

2年生



「ハッピーおもちゃランド」の学習では、手作りのおもちゃで遊ぶお店を考えて、1年生といっしょに楽しみました。1年生に喜んでもらえるようたくさんの工夫をしました。学習参観では、自分の成長をすごろくにまとめ、お家の人に発表しました。

学校の中庭で、雪遊びをしました。そりで遊んだり、かまくらを作ったり、冬ならではの活動を楽しみました。

3年生



総合で、「お宝マップ」づくりの活動をしてきました。地域探検で学んだことを「お宝マップ」にまとめました。学習参観では、「北小の周りの自慢だと思ふもの、素敵だと思ふもの」について紹介しました。

できたての「お宝マップ」を地域に配付し情報発信をしました。地域の魅力にたくさん気づきました。

4年生

～3学期の学校の様子 上学年編～



総合では1年間「福祉」について学習してきました。学習参観には、「みんなのHappy発表会」を開き、『あいさつプロジェクト』『イベントプロジェクト』『地域も元気にプロジェクト』で学んだことを、一人一人が発表しました。活動を通じて、誰かを幸せにするために行動することは、自分も幸せになることだということに気がきました。

5年生



鋳起銅器の伝統的な製法について職人さんから学びました。銅板の形を整え、着色する方法を教えてくださいました。金鋸を上手に使う形を整え、きれいに着色してオリジナルの作品を作りました。新潟市のテレビ局では、スタジオや調整室などを見学させていただきました。テレビ局で、情報を伝える上で大切なことを学びました。

6年生



総合的な学習で、新潟県や燕市で活躍されている方の生き方や考え方に学ぶことができました。それとともに、これからの夢や目標について思い描いたり、大切にしていきたいことを考えたりしてきました。学習参観では、スライドを交えて、自分の思いや夢を丁寧にスピーチしました。「夢語り」では、自分たちの夢を応援してもらったり、地域の方の夢や生き方から学んだりして、貴重な経験を積むことができました。

～6年生を送る会～ 感謝の気持ちを伝え合いました！



6年生へのメッセージ、楽しいクイズで思い出づくりをしました。心を一つに踊った6年生のダンス！

燕北小コミュニティ・スクール委員会【学校運営協議会】

2月28日（金）第3回学校運営協議会を開催しました。今年度最後の会議ということで、委員の皆様から「6年生を送る会」を参観いただき、その後に会議を開催しました。

令和6年度の学校教育活動の総括や学校評価の結果、今後の活動についてさまざまな意見をいただきました。

今年度は、総合的な学習の時間を中心に「アントレプレナーシップ教育」の視点を意識しながら、学習活動を組み立てて実践してきました。それらの活動を高く評価していただきました。なかでも、学校全体として「新しいことにチャレンジしてほしい。」という温かい激励もいただきました。



第3回学校運営協議会の様子

2月11日（火・祝）CS事業「燕北小 夢語り」

燕北小コミュニティ・スクール主催の「燕北小 夢語り」のイベントを開催しました。6年児童と保護者その他、多くの地域の方からのご参加いただきました。

この「夢語り」のイベントは、夢を持ち続ける地域の大人の姿から、子どもたちに夢に向かって前向きに歩んでもらうこと。発表者をみんなで応援し合うことで、地域全体を元気にしようとして初めて開催しました。

6年の代表児童も自分の夢を大勢の大人の前でしっかりと発表できました。地域の方の発表では、さまざまな夢や目標が語られ、大いに盛り上がりました。司会進行や挨拶などの運営を児童が担当しました。温かい拍手を受け、参加した児童にとって、とてもよい経験となりました。



会の運営・進行は6年児童が担当



商工会で活躍されているK氏



燕北小児童のご家族の方

委員の皆様から燕小コミュニティ・スクールの活動を通して、『めざす子ども像（地域で育てたい子どもの姿）』についてのご意見をいただきました。「つながり」「かかわり」「地域を元気に」が共通のワードです。

<p>保護者・家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を集う場として、集まれる場所であってほしい ・気軽に訪問しやすい学校であってほしい
<p>地域や人とのつながり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつができる ・ありがとう、感謝の気持ちを伝え合える ・お互いに知り合いになる。近所の人と顔見知りになれる ・つながりのきっかけ作りを学校中心にできるとよい ・分かり合える地域づくり ・困りごとの相談者になれる地域 
<p>地域への貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、クリーン作戦、親子イベントなどの実施 ・地域の活動に積極的に参加する（自治会、地域のイベントへの参加） ・子どもたちの元気を地域の元気に！

燕市で今年度から本格実施となったコミュニティ・スクールです。その中核となる組織が「学校運営協議会」です。1年目の今年度は、さまざまなことが手探りの運営でした。そんな中でも委員の皆様のご協力により、新たな事業の実施や充実した協議をすることができたと感じています。来年度以降も、「燕北小の子どもたちにどんな姿に育ててほしいか。」「そのために、学校と地域は何ができるか。」を中心に議論を深めていきたいと思っております。今後も燕北小の地域連携について、ご意見がございましたらお気軽に学校までお寄せください。